

持続可能な地域農業実践隊 成果発表会
(第 17 回 水稲初冬直播きの生産者向け講習会@山形県鶴岡市)

私たちの主食である貴重なコメ、その生産の現場では、稲作生産者の高齢化にともない大規模経営体に農地集約が進んでおり、今後その傾向はさらに続くものと考えられます。急激に進んでいる農地集約にともない、生産者あたりの栽培面積が急増しています。このことは、規模拡大を目指す生産者にとっては収益増加のチャンスである一方で、受け入れ可能な面積には限界があります。特に春の作業の集中を原因として受け入れを制限している生産者もでてきています。

コメ生産を持続可能な産業するため、新たな技術導入の可能性も検討する必要があります。対策の一つとして、苗づくりを行わない直播栽培が有力な手段であり、前年の初冬に播種する究極の作業分散技術「初冬直播き」に注目が集まっています。

ご興味のある方は、ぜひご参加ください。技術の概略と注意すべき点、また実際の圃場作業の注意点などについての講習と、実際の取組みの報告と課題についての発表会を行います。

日時：令和 8 年 2 月 3 日（火）14 時 30 分～17 時 45 分

（受付は 13 時 30 分から開始します。なお、終了後に希望者は懇親会があります）

場所：東京第一ホテル 鳳凰の間（〒997-0031 山形県鶴岡市錦町 2-10）

内容：（1）水稲初冬直播き栽培について

（岩手大学 下野裕之 教授）

（2）山形県庄内地方での初冬直播きの取組み及び、成果発表

（若手稲作経営者グループ「F A I N（ファイン）」 持続可能な地域農業実践隊 6 名）

（3）山形県村山地方での初冬直播きの取組み

（有限会社ファーム・イン・ビレッジ 五十嵐 晋氏）

（4）収穫と同時に播種する新しい栽培法

（山形大学 片平光彦 教授）

（5）質疑応答

主催：持続可能な地域農業実践隊

共催：岩手大学次世代アグリイノベーション研究センター、いつでも直播コンソーシアム（代表機関：岩手大学）

対象：水稲の初冬直播きに関心を持つ方（どなたでも参加できます）

定員と申し込み先：先着 100 名

1 月 20 日（火）正午までに以下の URL からお申し込みください。締め切り前であっても、人数が定員に達し次第締め切らせていただくことがあります。<https://forms.gle/2UTDPoZEbyAH9UuL6>

講習料：無料（講習会のみの場合）、ただし、懇親会への参加希望の方は 5,000 円を受付でお支払いください。事前の申し込みの必要があります。申し込まれて欠席された場合、料金が発生いたします。

